

2025年7月25日

各 位

会社名 株式会社ガーデン

代表者名 代表取締役社長 川島 賢

(コード番号：274A 東証スタンダード)

問合せ先 専務取締役管理本部長 小澤 修三

## 2026年2月期 第1四半期 決算説明 質疑応答集

2025年7月14日に発表いたしました2026年2月期 第1四半期決算について、当社で想定していました質問および発表以降に株主、投資家の皆様からいただいた主なご質問とその回答についてまとめたものです。尚、本開示は、ご理解いただきやすいよう一部内容の加筆・修正を行っております。

**Q1：2026年2月期第1四半期は、売上高が前年同期比+5.7%、営業利益は▲2.8%となりましたが、その要因を教えてください。**

A1：売上は、主力ブランドの壺角家、山下本気うどんが成長を牽引し、堅調に推移いたしました。一方、営業利益は、前年第1四半期では発生していなかった外形標準課税33百万円の負担が増加した影響により、前年同期比でやや減少いたしました。

**Q2：株主優待拡充を発表されましたが、変更内容の詳細を教えてください。**

A2：変更前は、ご優待券1枚につき、壺角家全店の家系ラーメン並（醤油 or 塩）、または油そばを1杯無料とさせていただいておりました。変更後は、壺角家のみならず、山下本気うどん全店でもご利用いただけるようになり、対象商品は、セットメニューを含む全商品に拡大いたします。これにより、単品商品のみならず、例えば、壺角家の満腹セット大盛（家系ラーメン大盛と丼のセット、1,600円前後※）や山下本気うどんの満腹セット（1,500円前後※）等のセットメニューがお楽しみいただけます。また、対象地域に関しましても、山下本気うどんも対象となることで、新たに北海道・茨城県・岡山県でもご利用いただけるようになります。

株主還元に関する詳細は、[こちら](#)のページをご覧ください。

※店舗によって価格・メニューの取り扱いが異なります。

**Q3：第2四半期は気温上昇による売上への影響が懸念されますが、対策を教えてください。**

A3：酷暑による外出控えなど、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されますが、当社では、お客様のご来店機会向上に向けた施策を積極的に行っております。具体的には、夏限定メニューを通常

よりも早い4月下旬から投入したほか、主力商品を安価で提供する「お客様感謝祭」や「周年記念祭」などのフェアも継続的に実施し、新規顧客の獲得およびリピート顧客の来店促進を図っています。

**Q4：店舗数は前年からあまり増えていませんが、今後の出店戦略について教えてください。**

A4：出店につきましては、利益額と利益率の向上を優先し、無理な出店を行わず、しっかりと利益を確保できる出店に絞っております。この方針のもと、前期末から当第一四半期会計期間末の間では、新規出店がフランチャイズの1店舗（山下本気うどんフランチャイズ1号店「COCONO SUSUKINO」）で、退店は、業務委託1店舗、フランチャイズ2店舗の計3店舗となりました。直営店の出店計画は3店舗でしたが、物件引渡しの都合などにより6月に出店となりました。

今後も、利益額と利益率を最優先とした出店を目指してまいります。

**Q5：主力商品を安価で提供する「お客様感謝祭」などのフェアを月に数回行っていますが、売上や利益の減少にはつながらないのでしょうか。**

A5：当社では、常に利益最大化を重視した店舗運営を行っております。「お客様感謝祭」のようなフェアに関しましても、実施した方が利益が上がるため、戦略的に計画しています。

**Q6：近年、大手企業がラーメン事業に参入していますが、御社の事業への影響や競争力について、どのようにお考えでしょうか。**

A6：ラーメンは一般的に低投資で、損益構造もシンプルと言われているため、参入障壁は低いと考えています。かたや当社は17年前からラーメン事業に携わり、その後、複数社のラーメン事業の再生に成功している実績とノウハウを有しています。これらを活かし、今後も新規参入に埋もれることなく、しっかりと利益を確保し、株主の皆様に還元してまいります。

さらに、当社は、既に首都圏の一等地において有力な物件を確保しており、立地面において強固な競争優位性を築いております。これらの物件は視認性や集客力に優れているため、他社が同様の利益水準を実現することは非常に難しいと考えております。そのため、今後大手企業の参入があったとしても、当社の事業に大きな影響が及ぶ可能性は低いと認識しておりますが、その優位性に甘んずることなく来店動機へと繋がるような販促や商品開発、QSCAの向上に取り組んでまいります。

**Q7：フランチャイズ新店舗の「山下本気うどん COCONO SUSUKINO」の状況はいかがですか。**

A7：2025年5月1日に、札幌市すすきの地区の複合商業施設「COCONO SUSUKINO」に山下本気うどんとして史上初のフランチャイズ店をオープンいたしました。オープンから、連日500名を超えるお客様にご来店いただき、常時行列ができるなど反響をいただいております。おかげさまで、オープン初月の5月の純売上に関しては、1,650万円を達成いたしました。

**Q8：配当に対する考え方を改めて教えてください。**

A8：当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけております。企業価値の継続的な拡大を図りつつ、将来の事業展開や経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しながらも、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

これまで期末配当を中心に株主還元を行ってまいりましたが、株主の皆様への還元機会をより早期に拡充することを目的に、今期より新たに中間配当を導入いたしました。2026年2月期の年間配当金は90円を予定しており、そのうち半額の45円を中間配当として実施いたします。また、配当性向については40%以上を目標としており、今後も業績や財務状況を総合的に勘案しながら、中間配当を含む安定的かつ継続的な配当政策を進めてまいります。

以上